

2025年度 決算補足資料

2026年5月14日

DOWAホールディングス株式会社

損益概況

- ・ 2025年度は金属価格の上昇等により前期比で増収増益、当期純利益は過去最高の624億円に到達

売上高 7,454億円 (前期比+9.8%) 営業利益 341億円 (同+6.1%)
経常利益 543億円 (同+24.6%) 親会社株主に帰属する当期純利益 624億円 (同+130.2%)

- ・ 3Q末にかけて貴金属相場が上昇したこと等に伴い、製錬部門のヘッジ取引評価損失(デリバティブ評価損失)が△74.0億円に増加も、4Q末にかけて貴金属価格が下落し、年間影響は△9.1億円(前期比△12.8億円)に縮小

需要動向

- ・ 新エネルギー関連製品は低調も、情報通信機器向け製品において、AIサーバー向けの販売が増加
- ・ ウェアラブル機器向け近赤外LED・PD(受光素子)の新規製品の量産販売が始まり、電子材料部門の収益が改善

株主還元

- ・ 株主還元方針に基づき、当期の年間配当は、1株あたり368円を予定(普通配当268円/株+特別配当100円/株)
- ・ 特別配当(100円/株)は、2026年2月に実施した株式譲渡により得られた資金を原資とする
- ・ 2026年2月の有価証券売却にあわせて、約100億円の自己株式取得を実施

業績予想

売上高 9,410億円（前期比+26.2%） 営業利益 530億円（同+55.0%）
経常利益 800億円（同+47.3%） 親会社株主に帰属する当期純利益 570億円（同△8.7%）

- ・ 平均為替レートは前期比で円安ドル高、金属価格は高値水準が維持される前提
- ・ 中東情勢が当社事業に与える影響は限定的であるため、需要動向への影響は織り込んでいない
- ・ ただし、原油価格の上昇が継続した際の影響として、電力代や資材価格の上昇を業績予想に織り込んだ

需要動向・コスト概況

- ・ 環境・リサイクル関連サービスの受注は、低濃度PCB廃棄物の処理量が減少することを見込む
- ・ 新エネルギー関連製品の販売は、燃料電池材料を中心に増加を想定
- ・ 亜鉛や銀の価格上昇や増産により、海外亜鉛鉱山の運営会社等の持分法利益が前期比で増加する見通し
- ・ 亜鉛製錬原料の購入条件の悪化や人件費の増加、成長投資の継続による減価償却費の増加を見込む

株主還元

- ・ 株主還元方針のもと、次期の業績予想等を踏まえ、1株あたり338円の配当を予定（配当性向35.1%）

連結損益計算書

単位:億円(億円未満切捨て)

	2024年度			2025年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,525	3,260	6,786	3,171	4,282	7,454	△ 354	1,021	667
営業利益	214	107	322	117	224	341	△ 97	116	19
経常利益	269	166	435	156	387	543	△ 113	221	107
親会社株主に帰属する 当期純利益	205	66	271	136	488	624	△ 68	422	353

為替・金属価格

	2024年度			2025年度		
	上期平均	下期平均	通期平均	上期平均	下期平均	通期平均
為替:(円/\$)	152.6	152.5	152.6	146.0	155.5	150.8
銅:(\$/t)	9,477	9,262	9,370	9,655	11,976	10,816
亜鉛:(\$/t)	2,806	2,943	2,874	2,733	3,204	2,968
インジウム:(\$/kg)	347	347	347	366	480	423

○ 事業環境(2025年度)

需要動向	環境・リサイクル関連	<ul style="list-style-type: none">・国内における廃棄物処理及びリサイクルの受注は堅調・東南アジアにおける廃棄物処理の受注は増加
	自動車関連	<ul style="list-style-type: none">・自動車の生産が回復基調にあったことから、自動車関連製品・サービスの受注は増加
	新エネルギー関連	<ul style="list-style-type: none">・競合他社との競争激化により、太陽光パネル向け銀粉の販売は減少・燃料電池向け新規製品(複合酸化物粉)のサンプル収入が増加
	情報通信関連	<ul style="list-style-type: none">・AIサーバー向けなどの需要が堅調であったことから、情報通信関連製品の販売は増加
相場環境		<ul style="list-style-type: none">・平均為替レートは前期比で円高ドル安で推移・金、銀及びPGM(白金族金属)などの貴金属の平均価格は上昇
コスト		<ul style="list-style-type: none">・電力代などのエネルギーコストは前年比で減少・製錬原料の購入条件の悪化に加え、人件費や減価償却費などは増加

○ 主要製品の動向

※2024年度1Qを100として指数化

		2024年度				2025年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
環境・ リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	90	90	86	95	89	94	87
	家電リサイクル処理台数	100	100	97	94	103	103	105	95
	東南アジア廃棄物処理額	100	91	112	122	98	105	123	116
製錬	リサイクル原料取扱量 (小坂製錬)	100	97	103	98	97	85	94	89
	亜鉛生産量	100	61	99	62	81	71	77	91
電子材料	LED販売量	100	112	114	95	101	123	95	86
	銀粉販売量	100	64	47	30	21	14	13	17
金属加工	伸銅品販売量	100	102	109	99	104	108	112	109
熱処理	熱処理加工売上高	100	103	103	108	101	108	109	111
	工業炉売上高	100	143	137	291	115	166	124	231

2025年度 セグメント別損益 前年比

単位:億円(億円未満切捨て)

	2024年度			2025年度			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	1,801	139	149	2,271	160	165	470	21	15	【+】 溶融・再資源化事業の処理増 【+】 金属価格の上昇 【△】 持分法投資損益の悪化
製 錬	2,663	105	171	3,647	69	196	984	△ 36	25	【+】 金属価格の上昇 【△】 製錬原料の購入条件の悪化 【△】 在庫評価損失(低価法・ヘッジ取引)の増加 【+】 海外鉱山関連収益の増加
電 子 材 料	1,648	△ 5	3	1,045	△ 26	11	△ 602	△ 20	8	【+】 近赤外LED・PDの新製品の立ち上がり 【△】 銀粉の収益悪化(減販、コスト増) 【+】 有償サンプル代収入の増加
金 属 加 工	1,287	52	59	1,473	93	97	185	40	38	【+】 自動車・情報通信関連製品・サービスの需要増 【+】 金属価格の上昇
熱 処 理	337	21	21	339	19	27	2	△ 1	5	【+】 為替差損の減少
そ の 他 全 社 ・ 消 去	△ 952	9	30	△ 1,324	25	44	△ 372	16	14	
合 計	6,786	322	435	7,454	341	543	667	19	107	

○ 経常利益の要因別分析

単位:億円(億円未満切捨て)

2025年度累計 - 2024年度累計	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	31	△ 61	△ 18	22	3	19	△ 3
実収差量(数量差)	—	△ 16	—	—	—	—	△ 16
実収差量(金属価格単価差)	—	90	—	—	—	—	90
外貨建て収入為替差	—	△ 3	—	—	—	—	△ 3
金属価格差・為替差(製錬部門を除く)	18	—	7	29	—	—	54
原料代(原料購入条件差)	—	△ 39	—	—	—	—	△ 39
電力代	—	16	—	—	—	—	16
在庫評価損益	2	△ 25	0	2	—	1	△ 20
低価法	△ 3	△ 13	0	0	—	1	△ 14
ヘッジ取引	5	△ 12	—	1	—	—	△ 5
製造原価(減価償却費他)・販管費・開発研究費	△ 30	△ 13	△ 9	△ 13	△ 4	△ 4	△ 76
営業利益増減	21	△ 36	△ 20	40	△ 1	16	19
営業外損益	△ 5	61	28	△ 1	6	△ 1	87
鉱山関連(持分法投資損益・ロイヤリティなど)	—	63	—	—	—	—	63
有償サンプル代収入	—	—	26	—	—	—	26
為替差 など	△ 5	△ 1	2	△ 1	6	△ 1	△ 1
経常利益増減	15	25	8	38	5	14	107

2025年度 セグメント別損益 2/10予想比

単位:億円(億円未満切捨て)

	2025年度 予想(2/10公表)			2025年度 実績			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	2,166	137	145	2,271	160	165	105	23	20	【+】PCB廃棄物の処理増 【+】不燃性廃棄物リサイクルの受注増 【+】金属価格の上昇、円安の影響
製 錬	3,519	53	168	3,647	69	196	128	16	28	【+】在庫評価損失の縮小 【△】ヘッジコストの増加 【+】海外鉱山関連収益の増加
電 子 材 料	876	△ 32	2	1,045	△ 26	11	169	5	9	【+】近赤外LED・PDの増販 【+】銀粉の増販 【+】磁性粉の増販
金 属 加 工	1,447	76	78	1,473	93	97	26	17	19	【+】自動車・情報信関連製品・サービスの需要増加 【+】金属価格の上昇、円安の影響
熱 処 理	337	16	22	339	19	27	2	3	5	【+】国内自動車関連製品・サービスの需要増加
そ の 他 全 社 ・ 消 去	△ 1,245	20	35	△ 1,324	25	44	△ 79	5	9	
合 計	7,100	270	450	7,454	341	543	354	71	93	

○ 連結貸借対照表

単位:億円(億円未満切捨て)

	2025年 3月末	2026年 3月末	増減		2025年 3月末	2026年 3月末	増減
流動資産	3,670	4,767	1,097	流動負債	2,016	2,495	478
				固定負債	558	702	144
固定資産	3,064	3,176	111	自己資本	3,984	4,555	571
				非支配株主持分	176	190	14
総資産	6,735	7,944	1,209	負債・純資産計	6,735	7,944	1,209
自己資本比率(%)	59.2	57.3	△ 1.8	ROA(%)	6.7	7.4	0.7
				ROE(%)	7.0	14.6	7.6

金属価格の上昇に伴う棚卸資産の増加に加え、設備投資に伴う固定資産の増加により、当期末の総資産額は前期末比+1,209億円の7,944億円となった

○ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:億円(億円未満切捨て)

	2024年度	2025年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	128	52	△ 75
税金等調整前当期純利益	386	781	394
減価償却費	287	309	21
法人税等	△ 112	△ 129	△ 17
棚卸資産	△ 526	△ 814	△ 287
その他	92	△ 94	△ 187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 414	121	535
設備投資	△ 471	△ 351	120
その他投資	57	473	415
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 41	△ 100	△ 58
キャッシュ・フロー計	△ 327	73	400

○ 2026年度 通期業績予想①

単位:億円(億円未満切捨て)

	2025年度 実績			2026年度 予想			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,171	4,282	7,454	4,494	4,916	9,410	1,322	633	1,955
営業利益	117	224	341	237	293	530	119	68	188
経常利益	156	387	543	371	429	800	214	41	256
親会社株主に帰属する 当期純利益	136	488	624	266	304	570	129	△ 184	△ 54

- ・ 2026年度の業績は、売上高・営業利益・経常利益が前期比で増加することを予想
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は、有価証券売却益の剥落により、前期比で減益となる見通し

需要動向

- ・ 自動車関連製品及びサービスの販売や情報通信関連製品の販売は、堅調に推移すると想定
- ・ 新エネルギー関連製品の販売は、燃料電池材料(複合酸化物粉)を中心に増加を想定
- ・ 環境・リサイクル関連サービスの受注は、低濃度PCB廃棄物の処理量が減少することを見込む

相場環境

- ・ 平均為替レート的前提は、前期比で円安ドル高となる155円/米ドル
- ・ 金属価格については、金、銀及びPGM(白金族金属)等の貴金属の価格も含め、高値水準が維持される前提
- ・ 亜鉛や銀の価格上昇や増産により、海外亜鉛鉱山の運営会社等の持分法利益が前期比で増加する見通し

コスト

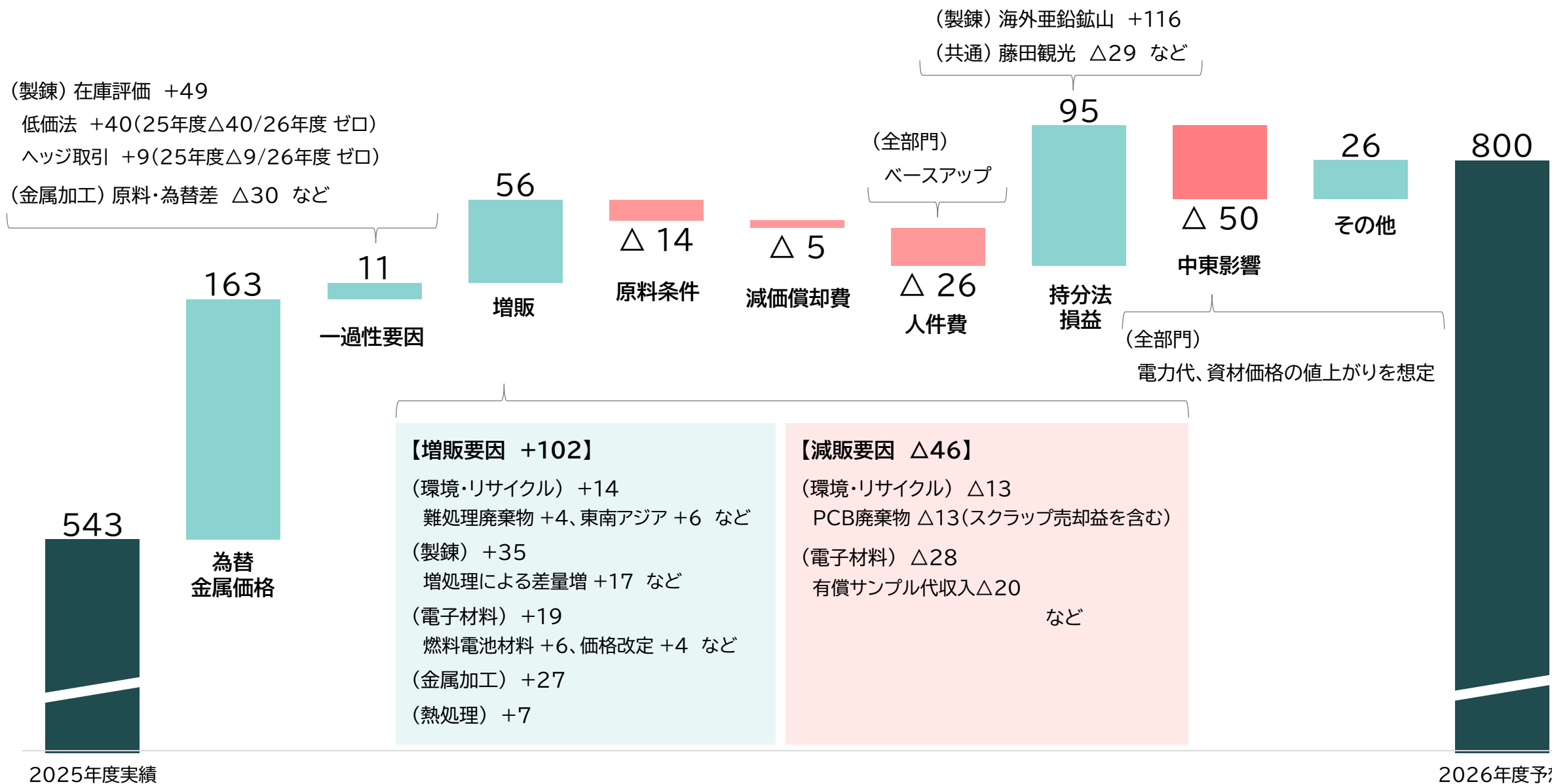
- ・ 亜鉛製錬原料の購入条件の悪化やヘッジコストの上昇、人件費の増加、成長投資の実施に伴う減価償却費の増加を見込む

中東情勢による当社の事業及び業績への影響

- ・ 中東情勢が当社の事業に直接的に与える影響は限定的
- ・ 今後の中東情勢を受けて顧客の操業状況が変化した場合、当社受注に影響が生じる可能性がある
- ・ 原油価格の上昇が継続した場合、電力代や調達資材の価格が上昇し、当社業績に影響を与える可能性があるため、2026年度の業績予想に電力代及び資材価格が前期比で上昇することを織り込んだ

2026年度 通期業績予想③ 経常利益の増減分析(前年比)

単位:億円(億円未満切捨て)



2026年度 通期業績予想④ セグメント別損益 前年比

単位:億円(億円未満切捨て)

	2025年度 実績			2026年度 予想			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	2,271	160	165	2,340	142	145	68	△ 18	△ 20	【△】 PCB廃棄物の処理減・スクラップ売却益の減 【+】 難処理廃棄物の処理増 【△】 資材費・人件費などの上昇
製錬	3,647	69	196	5,238	282	530	1,590	212	333	【+】 金属価格の上昇 【+】 在庫評価損失を織り込まない前提 【+】 海外鉱山関連収益の増加 【△】 電力代・人件費・ヘッジコストなどの上昇
電子材料	1,045	△ 26	11	1,267	6	25	221	32	13	【+】 燃料電池材料の増販 【+】 一過性要因(ヘッジコストの増加)の解消 【△】 有償サンプル代収入の減少
金属加工	1,473	93	97	1,690	72	71	216	△ 21	△ 26	【+】 自動車・情報通信機器向け製品・サービスの拡販 【△】 一過性要因(銅価格上昇による増益)の剥落 【△】 資材費・人件費などの上昇
熱処理	339	19	27	358	21	23	18	1	△ 4	【+】 自動車関連製品・サービスの拡販 【△】 資材費・人件費などの上昇
その他 全社・消去	△ 1,324	25	44	△ 1,483	7	6	△ 158	△ 18	△ 38	【△】 株式売却に伴う持分法投資利益の減少
合計	7,454	341	543	9,410	530	800	1,955	188	256	

2026年度 通期業績予想⑤ セグメント別損益(上期・下期)

単位:億円(億円未満切捨て)

	2026年度 上期予想			2026年度 下期予想			2026年度 通期予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	1,132	67	66	1,208	75	78	2,340	142	145
製錬	2,475	129	251	2,763	153	279	5,238	282	530
電子材料	622	2	14	645	4	11	1,267	6	25
金属加工	830	31	30	860	41	41	1,690	72	71
熱処理	169	6	7	189	15	15	358	21	23
その他 全社・消費	△ 734	2	2	△ 749	5	4	△ 1,483	7	6
合計	4,494	237	371	4,916	293	429	9,410	530	800

○ 株主還元(配当・自己株式取得)

- ・ 中期計画2027の配当方針に基づき、当期の年間配当は1株当たり368円(普通配当268円、特別配当100円)を予定
- ・ 特別配当(100円/株)は、2026年2月に実施した株式譲渡により得られた資金を原資とする
- ・ 有価証券の売却にあわせて約100億円の自己株式取得を実施

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度 計画
1株当たり当期純利益(円)	857.32	420.76	467.90	455.60	1,049.83	963.68
1株当たり配当金(円)	130	130	130	150	368	338
普通配当(円)	100	105	130	150	268	338
特別配当(円)	30	25	—	—	100	—
配当性向(%)	15.2	30.9	27.8	32.9	35.1	35.1
自己株式取得(億円※)	—	—	—	—	100	—

※自己株式取得の金額は、億円未満を切り上げて表示しています。

○ 前提条件・感応度(2026年度)

感応度(営業利益/年)

単位:億円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	155.0 円/\$	±1円/\$	6.3
銅	12,000 \$/t	±100\$/t	0.3
亜鉛	3,100 \$/t	±100\$/t	4.6
インジウム	600 \$/kg	±10\$/kg	0.7

・為替感応度の内訳は、製錬部門5.5億円、電子材料部門0.8億円です。

為替、金属価格

	2025年度			2026年度			(参考) 2026年 4月平均
	上期平均	下期平均	年度平均	上期前提	下期前提	年度前提	
為替:(円/\$)	146.0	155.5	150.8	155.0	155.0	155.0	159.3
銅:(\$/t)	9,655	11,976	10,816	12,000	12,000	12,000	12,891
亜鉛:(\$/t)	2,733	3,204	2,968	3,100	3,100	3,100	3,362
インジウム:(\$/kg)	366	480	423	600	600	600	696

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

投資の状況

単位:億円(億円未満切捨て)

	2023年度			2024年度			2025年度			2026年度 予想		
	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計
環境・リサイクル	98	5	103	124	6	130	124	9	133	151	8	159
製 錬	131	39	170	180	27	207	89	17	106	112	27	139
電 子 材 料	56	47	104	39	44	83	25	45	71	28	38	66
金 属 加 工	64	7	71	56	8	65	69	8	78	86	9	96
熱 処 理	18	3	21	18	3	21	21	3	25	26	4	30
全 社 、 そ の 他	28	1	29	48	0	48	28	0	28	42	1	44
合 計	398	104	502	467	89	556	358	84	443	447	89	536

・製錬の研究開発投資額には、鉱山開発投資を含んでいます。

(参考) 減価償却費

	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026年度 予想
環境・リサイクル	76	82	91	86
製 錬	61	74	91	93
電 子 材 料	38	40	32	26
金 属 加 工	36	45	46	52
熱 処 理	24	24	24	25
全 社 、 そ の 他	15	20	23	30
合 計	252	287	309	315

■2026年度の主な投資

環境・リサイクル:最終処分場の拡張、リサイクル原料前処理設備の増強、
シンガポールにおける廃棄物処理設備の増強

製錬:事業基盤の整備、製錬設備の更新

金属加工:伸銅品生産設備の更新

Appendix

○ ヒストリカルデータ

連結財務数値

単位:億円(億円未満切捨て)

		2023年度					2024年度					2025年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度
合計	売上高	1,909	1,797	1,809	1,655	7,171	1,889	1,635	1,646	1,614	6,786	1,601	1,570	1,815	2,466	7,454
	営業利益	73	69	83	73	300	117	97	41	65	322	64	52	9	214	341
	経常利益	126	92	113	116	447	142	127	75	90	435	86	69	63	323	543
	親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	78	53	108	38	278	117	87	32	33	271	64	72	49	438	624
環境・リサイクル	売上高	371	355	388	387	1,503	442	418	466	474	1,801	489	504	611	665	2,271
	営業利益	31	24	29	20	105	41	35	37	24	139	39	28	53	37	160
	経常利益	35	23	29	23	111	45	32	44	27	149	36	25	59	43	165
製錬	売上高	1,033	818	700	625	3,178	729	600	651	681	2,663	742	718	887	1,299	3,647
	営業利益	29	18	17	24	89	43	40	△ 10	31	105	19	3	△ 61	108	69
	経常利益	64	30	38	48	182	52	69	6	42	171	36	7	△ 28	181	196
電子材料	売上高	384	455	547	444	1,831	600	423	359	264	1,648	226	186	228	403	1,045
	営業利益	△ 0	5	6	4	16	8	1	△ 2	△ 13	△ 5	△ 9	△ 6	△ 13	2	△ 26
	経常利益	7	10	7	9	35	12	0	1	△ 11	3	△ 5	0	△ 3	19	11
金属加工	売上高	267	282	310	304	1,164	305	324	332	326	1,287	330	344	372	425	1,473
	営業利益	8	11	20	9	49	21	13	9	7	52	9	15	20	48	93
	経常利益	9	12	20	10	51	22	15	8	12	59	7	16	22	51	97
熱処理	売上高	67	81	82	91	322	70	80	78	108	337	73	86	79	99	339
	営業利益	1	6	7	8	24	1	4	5	10	21	1	5	3	8	19
	経常利益	4	8	7	11	32	3	3	6	8	21	2	8	5	10	27
その他、 全社・消去	売上高	△ 214	△ 196	△ 219	△ 198	△ 828	△ 257	△ 210	△ 243	△ 240	△ 952	△ 261	△ 270	△ 365	△ 426	△ 1,324
	営業利益	2	2	4	6	15	1	1	1	4	9	4	5	7	8	25
	経常利益	4	7	9	13	34	6	5	7	11	30	8	10	7	17	44

為替、金属価格

	2023年度					2024年度					2025年度				
	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均
為替:(円/\$)	137.4	144.6	147.9	148.6	144.6	155.9	149.4	152.4	152.6	152.6	144.6	147.5	154.1	156.9	150.8
銅:(\$/t)	8,478	8,356	8,169	8,444	8,362	9,751	9,204	9,178	9,346	9,370	9,519	9,792	11,100	12,852	10,816
亜鉛:(\$/t)	2,540	2,429	2,498	2,449	2,479	2,833	2,779	3,048	2,838	2,874	2,641	2,824	3,165	3,243	2,968
インジウム:(\$/kg)	197	241	235	234	227	324	370	341	353	347	376	355	367	593	423

在庫評価損益、持分法投資損益

在庫評価損益

単位:億円(億円未満切捨て)

部門	区分	2024年度					2025年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
製錬	低価法	△ 3	△ 23	△ 5	4	△ 27	△ 8	△ 9	△ 17	△ 4	△ 40
	ヘッジ取引	△ 7	26	△ 15	0	3	0	△ 32	△ 42	64	△ 9
	計	△ 11	3	△ 20	5	△ 23	△ 7	△ 42	△ 59	59	△ 49
金属加工	低価法	0	-	-	△ 0	△ 0	0	-	-	△ 0	△ 0
	ヘッジ取引	1	0	0	△ 2	1	△ 3	△ 0	△ 6	13	2
	計	2	0	0	△ 3	0	△ 2	△ 0	△ 6	12	2
その他	低価法	0	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0	0	0	0	△ 4	△ 2
	ヘッジ取引	0	0	0	△ 2	△ 1	1	△ 3	0	6	4
	計	1	0	△ 0	△ 3	△ 1	1	△ 3	0	2	1

持分法投資損益

単位:億円(億円未満切捨て)

部門	区分	持分比率	2024年度					2025年度				
			1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
製錬	ティサパ鉱山	39%	4	13	8	△ 4	22	△ 1	△ 6	1	33	26
	ロス・ガトス鉱山	30%	4	8	11	14	39	14	16	31	38	101
その他	-	-	2	10	3	12	28	2	2	3	16	25
合計			11	31	24	22	90	16	12	35	88	152

・当社の連結会計期間は4～3月であります。ティサパ鉱山／ロス・ガトス鉱山の会計期間は1～12月の為、1四半期遅れで反映しています。

○ 相場実績

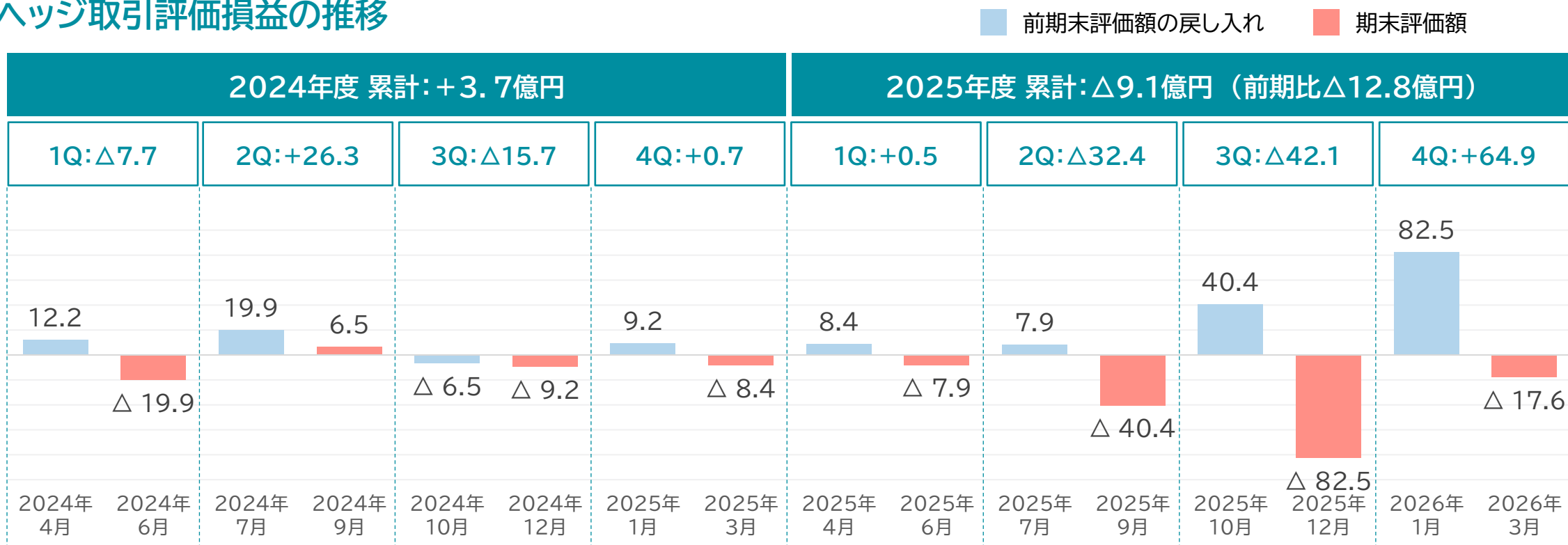
- ・ 為替は年度平均150.8円/\$の前期比で円高ドル安となったが、2025年度3Q以降は円安基調に転じた
- ・ 金属価格は、金・銀などの貴金属を中心に価格上昇トレンドが継続

		2024年度					2025年度				
		1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均
為替	円/\$	155.9	149.4	152.4	152.6	152.6	144.6	147.5	154.1	156.9	150.8
銅	\$/t	9,751	9,204	9,178	9,346	9,370	9,519	9,792	11,100	12,852	10,816
亜鉛	\$/t	2,833	2,779	3,048	2,838	2,874	2,641	2,824	3,165	3,243	2,968
インジウム	\$/kg	324	370	341	353	347	376	355	367	593	423
金	\$/oz	2,338	2,476	2,662	2,862	2,585	3,280	3,454	4,145	4,877	3,939
銀	\$/oz	28.9	29.4	31.3	31.9	30.4	33.6	39.4	54.8	84.4	53.1
プラチナ	\$/oz	981	963	966	970	970	1,073	1,384	1,675	2,207	1,585
パラジウム	\$/oz	972	970	1,011	962	979	991	1,170	1,469	1,714	1,336
ロジウム	\$/oz	4,706	4,694	4,650	4,931	4,745	5,453	6,770	7,912	10,790	7,731

○ (参考) 製錬部門におけるヘッジ取引評価損益について

- ・ 当社グループは棚卸資産を対象に、金属価格や為替の相場変動リスクを回避するためヘッジ取引を行っています
- ・ ヘッジ取引は原則として毎四半期末に時価評価を行い、その結果に基づいて会計処理を行います
- ・ このとき、ヘッジ会計を適用できない一部の取引においては、評価差額をヘッジ取引評価損益として損益計算書に計上します
- ・ なお、このヘッジ取引評価損益は、翌四半期初に同額を戻し入れます
- ・ 2025年度は3Qまでは銀価格の上昇により損失が拡大しましたが、4Q末にかけて下落したことから損失が縮小しました

ヘッジ取引評価損益の推移



資源がめぐる真ん中に。

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。